技術・家庭科 《第1学年家庭分野》年間指導計画・評価計画

担当（　熊谷　友美　）

家庭分野の目標
　家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につけられるようにするとともに、よりよい生活の実現に向けて課題をもって生活をよりよくしようとする能力と生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	題材名	指導目標	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
4	オリエンテーション ＜１時間＞	○小学校家庭科の学習をふり返るとともに，３学年間の見通しをもつ。	・ワークシートや話し合いによって，これまでの自分をふり返る。 ・自立と共生について考える。				行動観察 ワークノート ワークシート
5	A．自分の成長と家族・家庭生活 ＜４時間＞ ①　今までの自分とこれから ②　私の生活と家族・家庭 ③　家庭を支える社会 ④　中学生にとっての家族	○各内容と家族・家庭の基本的な機能が関連していることに気づく。 ○自分の成長と家族や地域の人びととのかかわりと自分自身の理解を深める。 ○家庭での活動を考え，家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ○自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ○家族には互いの立場や役割があり，協力することで家族関係をよりよくできることを理解する。	・教科書の例を参考に支えてくれた人を思い出す。 ・中学生のいる世帯の１日の生活時間のデータから，家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気づき，自分ができることを考える。 ・小学校での学習を思い出し，家庭の働きと，それを支える活動について考える。 ・ロールプレイングを通して，家族関係をよりよくする方法を考える。	・自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 ・家族・家庭の基本的な機能について理解している。 ・家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。 ・家族の互いの立場や役割について理解している。 ・家族と協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。 ・家族とのかかわりについて解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・家族とのかかわりについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのかかわりについて，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・よりよい家庭生活の実現に向けて，家庭生活について工夫し創造し，実践しようとしている。	

6	B. 衣食住の生活〔衣生活〕 1.目的に応じた衣服の選択 ＜４時間＞ ① 衣服で伝わるメッセージ ② 自分らしくコーディネート ③ つなげよう和服の文化 ④ 上手な衣服の選択	○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ○自分らしい着方を工夫することができる。 ○和服の文化に関心をもち，和服の着方を知る。 ○自分の衣服計画が立てられる。 ○既製服を選ぶポイントがわかる。	・TPO を設定し，ワークシートに適した衣服のデザイン画を記入する。 ・手持ちの衣服で着ないものや着られなくなったものを点検する。 ・調べた衣服の表示とその意味を確認する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ，自分の考えをまとめる。	・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用について理解している。 ・個性を生かす着用について理解している。 ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。	・衣服の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の選択について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・衣服の選択について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて，衣服の選択について，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト
7 9	3.布による作品で生活を演出 ＜７時間＞ 製作の基礎・基本	○布を用いて生活を豊かにするものを考える。 ○製作の計画を立て，手縫いやミシン縫いで生活を豊かにするものをつくる。	・生活を快適にしたり，資源や環境に配慮したりするなど，自分や家族，地域の人の生活を豊かにするための物を製作する。	・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに，用具を安全に取り扱い，製作が適切にできる。	・資源や環境に配慮し，生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・よりよい生活の実現に向けて，生活を豊かにするための布を用いた製作について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 作品
10	2.日常着の手入れと保管 ＜４時間＞ ① まかせて衣服の手入れ ② 布の繊維に応じた手入れ ③ めざそう洗濯名人 ④ 補修や収納・保管	○衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり，適切な手入れができる。 ○取扱い表示の意味を理解し，衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。 ○衣服の素材に合った洗剤を選び，適切な量を使用できる。 ○衣服の傷みの状況に合わせた方法で補修ができる。 ○衣服に合わせた方法でアイロンかけや収納・保管を適切に行うことができる。	・しみ抜きの体験など衣服の状態に応じた手入れの必要性を理解し，適切に手入れができる。 ・洗濯で縮んだセーターを見て，なぜそうなったか考えるなど，衣服の素材や状態に応じた手入れができる。 ・洗剤のはたらきの動画を視聴するなど科学的な理解を深め，衣服の素材に応じた洗濯が適切にできる。	・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに，適切にできる。 ・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに，適切にできる。	・日常着の手入れについて問題を見いだして課題を設定している。 ・日常着の手入れについて解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・日常着の手入れについて，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて，日常着の手入れについて，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト

11	4.持続可能な衣生活 ＜１時間＞	○資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。	・持続可能な衣生活を目指して，衣服計画を立て，衣服の活用や管理の方法を工夫する。		・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した衣生活について考え，工夫している。	・よりよい衣生活を目指して，衣服の選択や手入れ，製作などについて，工夫し創造し，実践しようとしている。 ・自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート
12	B. 衣食住の生活〔住生活〕 1.住まいのはたらきとここちよさ ＜２時間＞ ①　住まいのはたらき ②　住まいの空間	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ○住まいの空間の使い方について理解する。 ○さまざまな生活によって，住まい方の工夫があることを理解する。	・住まいの役割や基本的な機能について考え，各地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づく。	・住居の基本的な機能について理解している。 ・家族の生活と住空間との関わりが分かりについて理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・家族の安全を考えた住空間の課題について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト
	2.安全な住まいで安心な暮らし ＜３時間＞ ①　家庭内事故への備え ②　災害への備え 3.持続可能な住生活 ＜１時間＞	○家庭内の事故の種類と，その原因を知る。 ○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ○地域さまざまな災害に備えて，室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 ○持続可能な社会の実現に向けて，さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。	・年齢別による家庭内事故の特徴を知り，安全に住むための対策を考える。 ・持続可能な住生活のために，課題を見つけ，改善方法を考える。	・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。 ・自然災害への事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・家族の安全を考えた住空間の課題について，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。 ・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した住生活について考え，工夫している。	・家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，住居の機能と安全な住まい方について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 ・自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。	

1	B. 衣食住の生活〔食生活〕 1.食事の役割と食習慣 ＜２時間＞ ①　食事の役割 ②　健康に良い食習慣	○食事の役割について理解し，毎日の食事に関心をもつ。 ○健康に良い食事について学び，規則正しく食事をとることの重要性を理解する。	・「わたしの興味・関心」で自分の食生活をふり返りながら，食に関する考えを深める。 ・宇宙ステーションでの食事と日常生活の食事とを比べて，グループで話し合う。 ・「生活にいかそう」にとりくみ，自分の考えをまとめる。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 ・自分の食習慣について解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・自分の食習慣について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい食生活の実現に向けて，自分の食生活について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート
2 3	2.中学生に必要な栄養を満たす食事 ＜４時間＞ ①　中学生の発達と必要な栄養 ②　栄養素のはたらきと６つの基礎食品群 ③　栄養バランスを目で見て判断	○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ○中学生が１日にとりたい食品と分量を知る。 ○１回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	・食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し，その理由を考える。 ・五大栄養素の種類について確認する。 ・食品に含まれる栄養素と，食品成分表の見かたを理解する。 ・「生活にいかそう」にとりくみ，１回の食事の栄養バランスを判断できる。	・中学生の１日に必要な食品の種類について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり，食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の１日に必要な食品の種類と概量について理解している。	・中学生の１日分の献立について問題を見いだして課題を設定している。 ・中学生の１日分の献立について解決策を構想している。	・中学生に必要な栄養を満たす食事について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて，中学生に必要な栄養を満たす食事について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
	4.日常食の調理 ＜２時間＞ ①　調理の計画 ②　おいしさと調理	○調理の流れと手順がわかり，計画を立てることができる。 ○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。	・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。 ・混合だしをつくるなどの体験を通して，おいしさと調理の関係を理解する。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに，適切にできる。	・日常の１食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の１食分の調理について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。	